

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公開番号】特開2018-89484(P2018-89484A)

【公開日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2018-022

【出願番号】特願2018-48826(P2018-48826)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月2日(2018.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件の成立に基づいて、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを実行可能であり、当該変動表示ゲームに関連した演出を表示可能な表示装置を備え、

前記変動表示ゲームの結果が所定結果となった場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与する特別遊技状態を発生可能な遊技機において、

前記変動表示ゲームの実行権利として始動記憶を記憶可能な始動記憶手段と、

前記始動記憶に対応する始動記憶表示を表示する始動記憶表示手段と、

前記変動表示ゲームについて事前判定する事前判定手段と、

前記事前判定の結果に基づいて、事前予告演出を実行する事前予告演出手段と、

前記特別遊技状態の終了後から所定期間に亘って当該特別遊技状態とは異なる特定遊技状態を発生可能な特定遊技状態発生手段と、

前記特定遊技状態中の特定期間において前記事前予告演出を実行しない事前予告演出禁止手段と、を備え、

前記事前予告演出禁止手段は、前記特定期間以外の前記特定遊技状態中は、不能動化されることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記特定期間に関して、前記始動記憶表示に関連する表示態様を変化させることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記特定期間において発生した前記始動記憶について、当該特定期間の終了後に前記事前予告演出が可能であることを特徴とする請求項1または2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

しかしながら、従来の遊技機は予告演出の演出効果を十分高めたものではなかった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明は、予告演出の演出効果を高めることができることが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の代表的な一形態では、所定条件の成立に基づいて、複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを実行可能であり、当該変動表示ゲームに関連した演出を表示可能な表示装置を備え、前記変動表示ゲームの結果が所定結果となった場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与する特別遊技状態を発生可能な遊技機において、前記変動表示ゲームの実行権利として始動記憶を記憶可能な始動記憶手段と、前記始動記憶に対応する始動記憶表示を表示する始動記憶表示手段と、前記変動表示ゲームについて事前判定する事前判定手段と、前記事前判定の結果に基づいて、事前予告演出を実行する事前予告演出手段と、前記特別遊技状態の終了後から所定期間に亘って当該特別遊技状態とは異なる特定遊技状態を発生可能な特定遊技状態発生手段と、前記特定遊技状態中の特定期間において前記事前予告演出を実行しない事前予告演出禁止手段と、とを備え、前記事前予告演出禁止手段は、前記特定期間以外の前記特定遊技状態中は、不能動化される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一形態によれば、予告演出の演出効果を高めることができる。